

KYOEI NEWS

 共栄システム株式会社 
 〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号
 TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517
 e-mail osaka@kyoeisystem.co.jp
 URL http://www.kyoeisystem.co.jp

【運送会社の経営情報】 歩合給に含まれる残業手当について

先月お知らせしました、東京都大田区のタクシー会社に勤務する乗務員14人が、実質的に残業代などの割増賃金が支払われない賃金規則は無効であるとして、未払い賃金の支払いを求めた裁判で、その後最高裁は、賃金規則が無効である(未払い賃金を支払え)との二審判決を破棄し、審理を高裁に差し戻す判決を言い渡しました。同社の賃金規則では、基本給のほかに、売上高に応じた「歩合給」を支払うことになっていましたが、歩合給を計算する際に、残業代などに相当する金額を差し引くことになっていたそうです。一、二審では、このような規則は労基法の趣旨に反し、公序良俗違反で無効だとしていましたが、最高裁は「一概に無効であると解することはできない」とし、有効か無効かを改めて高裁で審理すべきだとしました。最高裁の考え方は、「賃金規則で定めた独自の計算方法を使っても、法の定めている水準の残業代が実質的に支払われていれば適法」であるとのこと。



運送業界では、「歩合給の中に残業代が含まれている」「残業しても歩合分しか払われない」という賃金制度は広く普及しています。その意味でも今後の司法の判断は注目されます。

【運送会社の経営情報】 改正道路交通法が施行！ 再確認しておきたいポイント

3月12日、改正道路交通法が施行されました。

主な改正点は、(1)準中型運転免許の新設、(2)75歳以上の高齢運転対策推進(臨時適正検査制度の見直しと、臨時認知機能検査・臨時高齢者講習制度の新設)の2点です。

今回は、多くの企業で注意が求められることになる、「準中型運転免許の新設」について、改めて確認しておきたい点をご案内します。

◆「準中型免許」とは？

準中型免許は、満18歳以上から取得できる免許です。普通免許と中型免許の間に新設され、車両総重量7.5トン未満、最大積載量4.5トン未満までの自動車(いわゆる「2トントラック」まで)を運転することができます。準中型免許で運転できるトラックは、例えば宅配便やコンビニの配送、建設や土木などの資材運送など、利用の範囲が幅広いのが特徴です。

特に運送業界は人手不足が深刻な状況ですが、準中型免許は18歳以上であればそれ以前の運転経験を問わずに取得することができますので、高校を卒業してすぐに就職しようとする人や、大学生・専門学校生のアルバイト等、準中型免許の取得により人材の活用の幅が広がることが期待できます。

◆運送事業者の留意点

一方で、普通免許で運転できる車両の範囲が狭くなる(車両総重量5トン未満だったものが、改正後は同3.5トン未満となる)ことに注意が必要です。

平成19年に「中型免許」の導入により運転免許の区分が変更された際には、運転免許証とトラックの自動車検査証の照合を怠った結果、普通免許では運転できないトラックを運転して無資格・無免許運転で検挙され、行政処分を受けるケースが多発しました。

違反自体は単なる「ミス」「勘違い」が原因であったとしても、そこから事故や違反項目が芋づる式に出てくることで、処分が予想以上に厳しくなるケースも決して少なくありません。

トラックを運転させる事業場では、各人が運転することができる車両の範囲について、しっかり確認することが求められます。



※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスを FAX(06-6535-7517)までご連絡ください。

貴社名() アドレス()